

# 福岡Session2019 X アートのクロスロード

---

## 実施報告書

開催日:令和1年6月15日(土)

福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE

## 実施概要・実施実績

### 実施概要

- 名称 福岡Session2019 X アートのクロスロード
- 開催日程 2019年6月15日(土)
- 開催時間 13:00～15:30(開場12:00)
- 開催場所 Mekuruto (福岡県久留米市中央町11-1 第一田中ビル2階)
- 実施内容 障害のある方たちを取り巻くアート活動の今を、工房まる の代表理事であり、九州障害者アートサポートセンターのセンター長である樋口龍二氏にご講演いただきます。また、筑後地区と鳥栖地区で、アート活動を支援の中に取り入れた活動を行っている事業所 (Studio.nucca、リュート、studio.UNco) の方たちの事業所紹介や活動報告を聞き、毎日の支援の中にアート活動を組み込む具体的な方法を探っていきます。
- 主催 福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE
- 共催 NPO法人らいふステージ
- 後援 福岡県 久留米市教育委員会

### 実施実績(結果)

総来場者数

25名(定員20名)

■コーナー別 来場者数

Session1 障害のある方たちを取り 巻くアート活動の今	25名
Session2 事業所紹介・活動報告	22名
Session3 質疑応答・意見交換	22名

## 会場(全体)



■会場 Mekuuto

■住所 福岡県久留米市中央町11-1 第一田中ビル2階

■アクセス 車 久留米インターより約25分

電車 JR博多駅よりJR久留米駅まで 特急で30分、快速で40分  
西鉄福岡(天神)駅より西鉄久留米駅まで 特急で30分、急行で40分

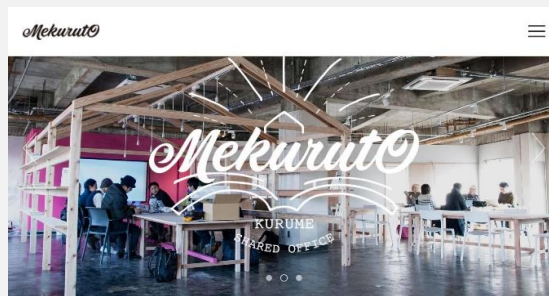
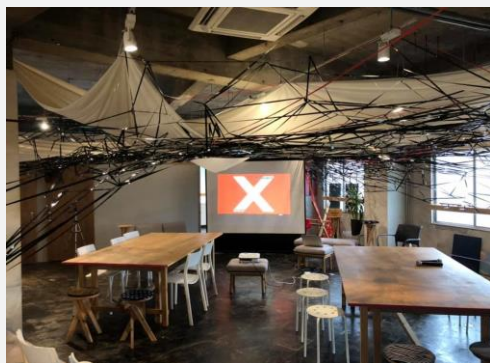
徒歩 JR久留米駅より約5～10分

■控室 ステージ裏

■機材貸し出し

スクリーン、プロジェクター、机、椅子、マイク(会場使用パックあり)

■注意事項 多目的トイレなし。会場に直結するエレベーターはない。



# 全体スケジュール

## イベント全体スケジュール

日付 時間	Mekuruto【会場】
11:00	スタッフ集合 会場準備
12:00	開場
13:00	【Session1】 障害のある方たちを取り巻くアート活動の今 樋口龍二氏 講演
13:45	休憩
13:55	【Session2】 事業所紹介・活動報告
14:55	休憩
15:00	【Session3】 質疑応答・意見交換
15:30	終演
16:00	完全撤収

## チラシ・パンフレット

**福岡Session2019**

**アートのクロスロード**

障がいのある方たちを取り巻くアート活動の今を、工藤まるの代表理事であり、九州障害者アートサポートセンターのセンター長である樋口龍二氏にご講演いただきます。  
また、筑後地区や島前地区で、アート活動を支援の中に取り入れた活動を行っている事業所の方たちの事業所紹介や活動報告を聞き、前日の支援の中アート活動を組み込む具体的な方法を学んでいます。

**2019.6.15(土) 開場 12:00 開演 13:00 (終了15:30予定)**

**場所 Mekuruto(メクルト) 福岡県久留米市中央町11-1 第一田中ビル2階**

**参加費 無料 参加定員 先着20名 応募必 6月10日(月)**

**対象者 :** これから障がいのある方たちと美術活動を行ってみたい支援者  
すでに障がいのある方たちと美術活動を行っている支援者

申し込みは、会場には専用駐車場がありません。公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用ください。

主催：福岡県障がい者芸術文化活動支援センターSCORE 共催：NPO法人らいる。ステージ  
後援：福岡県 久留米市教育委員会

### 福岡Session2019 X アートのクロスロード

#### タイムスケジュール

Session 1 13:00 - 13:45  
 障がいのある方たちを取り巻くアート活動の今を、工藤まるの代表理事であり、九州障害者アートサポートセンターのセンター長である樋口龍二氏にご講演いただきます。

Session 2 13:45 - 14:55  
 筑後地区、島前地区で、アート活動を支援の中に取り入れた活動を行っている事業所の方たちの事業所紹介や活動報告を聞き、前日の支援の中アート活動を組み込む具体的な方法を学んでいます。

Session 3 15:00 - 15:30  
 質疑応答・意見交換

#### 講師の紹介

<p><b>樋口 龍二</b>        NPO法人らいる代表理事/株式会社くまのこびこ代表取締役社長/久留米市アートサポートセンターセンター長        1998年、築後地区で障がい者アート活動の中心となる「くまのこびこ」を設立。2007年にNPO法人らいる設立と同時に代表理事に就任。現在は、筑後地区の障がい者アートの普及と社会参加のサポートを目的として、セミナーやワークショップ等を各地で開催。2013年には、筑後地区の障がい者アート活動の中心となる「くまのこびこ」を、筑後地区の障がい者アート活動の中心となる「くまのこびこ」として完全分離運営中。2014年、NPO法人らいるが「第22回福岡県文化庁（社会福祉）」を受賞。</p>	<p><b>北岡 史明</b>        株式会社 Lia Lab 代表取締役/マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了        障がい者福祉の観点から20年間の経験を持ち、多様な障がい者の方々と共に活動に参加してきてきた。母まのり福祉会もともに関係法人として Lia Lab の設立と、支援者チーム「マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了」の運営管理を行っている。studio mecca ではアート活動をしながら障がい者の方々の就業支援も実施し、地域とのつながりや社会参加に向けた取り組みを推進している。</p>
<p><b>松雪日出夫</b>        役員理事/長岡市立美術館/Studio U.Va. (スタジオ アン ガンバニョ) 代表理事        2014年以前、長岡市の社会福祉協議会（現社会福祉協議会）の職員として、障がいのある方々の就業支援や、障がいのある方々の就業支援の推進に携わってきた。2014年、長岡市立美術館の職員として、障がいのある方々の就業支援の推進に携わってきた。2014年、長岡市立美術館の職員として、障がいのある方々の就業支援の推進に携わってきた。</p>	<p><b>井手裕司</b>        NPO法人らいるステージ 実行副代表理事/マサチューセッツ工科大学大学院修士課程修了        筑後地区の障がい者アート活動の中心となる「くまのこびこ」の運営管理を行っている。筑後地区の障がい者アート活動の中心となる「くまのこびこ」の運営管理を行っている。筑後地区の障がい者アート活動の中心となる「くまのこびこ」の運営管理を行っている。</p>

#### お申込み・お問い合わせ

下記①～④を記載の上、電話・メール・FAXのいずれかよりお申し込みください

Googleフォーム(右のQRコード)からの応募も可能です

申し込みは、会場には専用駐車場がありません。公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用ください。

お申し込み先 TEL: 0932-22-0807 FAX: 0932-41-2153 Mail: score@fostage.jp Web: http://score.fk.jp

## 来場者アンケート集計及び感想

回答数：14名

1. 本日は何人でご参加頂きましたか？

2. 所属をご記入ください

らいふステージ利用者の保護者又は関係者	0
らいふステージ職員関係者	7
行政職員	0
他施設の利用者又はその保護者・関係者	6
学校勤務者(特別支援学校含む)	0
学生(小・中・高・大・専)	0
一般参加 久留米市在住	1
一般参加 その他在住	0

3. 今回のイベントで印象に残った内容をご記入ください。

- ・療育の大事な個性を生かすなど考え直すことを知ることができました。
- ・利用者の作品をスタッフのアイデア、感性…最終的、日々の営業せつかくの表現を生かすことが大事
- ・作品にスタッフの意見・指示が入った時点で利用者の作品でなくなってしまう。支援は必要ない。
- ・利用者のイメージを広げる方法
- ・本人の可能性役割を見出す → 選択肢の幅(画材の種類等)を広げる情報の提供。できあがりだけが作品ではない。やぶれた場合も作品になる。
- ・作品から商品への難しさ
- ・工房まるの活動の内容 Uncoの活動の内容
- ・Uncoさんの早期療育の必要性の話がとても共感するところが多かったです。大人になってでは遅いのかな？と思うことがあったので、のびのびと子供達が過ごしている姿が印象的でした。あそびの中から学んでいる！とわかりました。
- ・アートの”自由”
- ・利用者様のオリジナル性をどう生かすかー！がスタッフの器量にあると痛感しました。
- ・放デイの実践は参考になりました。就労も先を見据えた支援を考えるきっかけになりました。
- ・高、大と美術の勉強してきた私が何かやくに立てるかな？と思いました。「指導者がいない」という課題を聞き少しはお手伝いできるかもと感じました。
- ・営業力の必要、重要性

4. このイベントのご意見、ご感想の記入をお願いします。

- ・いろいろな話が聞けて良かったです。きちんと収入とした形にすることなど
- ・参加して良かったです。どこの事業所もいろいろな活動をされているのが分かり勉強になりました。
- ・個人の感性をいかに生かして、その方の生活の一部につなげられたらいいと思ったし、そのような支援ができるようにしていきたいと思いました。たくさんヒントを頂けたのでとても参加して良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。活動の幅が広がりそうです。
- ・雰囲気よかったです。
- ・参加対象者に合っていませんでしたが来て良かったです。もし、役立てるならば声をかけていただけると嬉しいです。

### 考察

参加者からの感想は概ね好評。工房まるやUnco.(アンカンパニー)の活動に共感した参加者が多く、障がい者の芸術文化活動の普及イベントとして成果はあったと思われる。今年度は20名ほどの参加者を対象とした小規模のセミナーを複数回開催することを企画している。今回はSNS上やインターネットで参加者の募集を行った。小規模のセミナーとしたため、運営の面では参加者一人一人に声を掛けることができ、それぞれの困りごとや相談事を聞く機会ともなった。引き続き、小規模のセミナーを複数回開催し、多種多様な芸術活動があることを知っていただきつつ、それを一緒に楽しめる支援者を育成していきたい。